



笹小だより



⑧ 令和7年9月25日号

伊丹市立笹原小学校

力を合わせる

ようやく少し暑さが和らぎ、秋の気配を感じるようになってきました。2学期は、音楽会や校外学習、高学年では宿泊行事と、大きな行事を通して成長するときでもあります。そこで、子どもたちには、「力を合わせる」ことを今学期のテーマとして伝えています。そのためには、「ありがとう」や「大丈夫?」といった温かい言葉を伝え合い、小さな優しさを持ち続けること、寝の時間を整えてすっきり起き、朝ご飯を食べて登校できるよう心がけること、考えて行動すること、という3つを心において学校生活を送ってほしいと始業式で話していました。朝は「おはよう」昼は「こんにちは」と使い分けたり、伝える相手によって、「おはよう」と「おはようございます」を区別したりと、あいさつだけでも、場面・人・周りの様子などを考えて行動しています。難しく考える必要はありません。折に触れて、この3つを意識しながら取り組んでいきたいと考えています。睡眠や食については、保護者の皆様とともに行っていきたいと考えておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



令和7年度全国学力調査の結果について

令和7年4月 17 日(木)6年生を対象に実施の全国学力・学習状況調査結果が文部科学省より返却されています。受検者の個人票は、すでに返却しておりますが、本校の結果概要をお知らせいたします。

【国語】

本校の平均正答率(受検者に対して正答していた児童の割合)は、全国の平均正答率より2ポイント上回っていました。

○基礎的な言語知識、単一の資料から情報を読み取る問題、文章の大意を捉えたり事実を基に説明したりする問題は、全国平均と同等かそれを上回る正答となっています。

▲インタビューや話し合いの場面における「発言の目的や理由」を適切にとらえたり、複数の資料を根拠にまとめ、自分の考えを説明したりする問題では課題が見られました。(問題番号:3二(2) 3三(1))

【算数】

本校の平均正答率は、全国の平均正答率より3ポイント上回っていました。

○基本的な計算問題や数直線、単位、グラフなどの読み取り、図形、単純な資料の読み取り、四則演算を利用した文章題などにおいては、全国と同等か上回る正答となっています。

▲資料を基に「理由や根拠を説明する」記述問題、複雑な文章題や複数条件を整理する問題、分数における通分や単位分数を活用して説明する問題に課題が見られました。(問題番号:2(4) 3(2) 4(4))

【理科】

本校の平均正答率は、全国の平均正答率より4ポイント下回っていました。

○赤玉土の大きさの違いによる水のしみこみ方や顕微鏡の操作などの基礎的な問題については、平均並みでした。

▲金属の性質に関する問題や水の循環に関する問題などに課題が見られました。(問題番号:2(1) 4(2)(3))

※令和7年度全国学力調査の問題は、「国立教育政策研究所」のホームページに掲載されています。

国立教育政策研究所ホームページ

<https://www.nier.go.jp/25chousa/25chousa.htm>



令和7年度全国学習状況調査の結果について

○主に、次の項目で全国平均を上回っていました。

(単位:%)

質問項目	本校	全国
朝食を毎日食べている	95.9	93.7
毎日同じくらいの時刻に寝ている	83.4	81.9
自分にはよいところがあると思う	87.5	86.9
将来の夢や目標をもっている	90.3	83.1
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	95.8	92.2
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う	84.1	81.3
ICT 機器を使って学校のプレゼンテーションを作成することができる	82.7	76.7

▲主に、次の項目で全国平均を下回っていました。

質問項目	本校	全国
学校に行くのは楽しいと思う	75.0	86.5
自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	78.5	81.7
普段、学校以外で1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか(1時間以上)	31.3	54.0
普段、学校以外で1日あたりどれくらい読書をしますか(30 分以上)	15.3	31.1

生活面から ICT の活用、学習習慣、自尊感情や学び方など、71の質問項目があります。主なものについて、結果概要としてお知らせいたします。

学習状況と学力の相関関係について

学力と学習状況のクロス集計の結果、次のような項目に正答率の高さとの相関関係が見られました。

- 話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり新たな考え方にきづいたりする。
- 自分の考えがうまく伝わるよう工夫して発表している。
- ICT 機器を使って学校のプレゼンテーションを作成することができる。
- 地域や社会をよくするためになにかしたいと思う。
- 学校以外で1日当たり 30 分以上読書をする。
- 学校以外で1日当たり1時間以上勉強する。
- 自分で学び方を工夫する。
- 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある。
- 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。
- 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。
- 朝食を毎日食べている。



本調査は、あくまで学力の一側面をはかるものとなっておりますが、本校の現状がわかる資料の一つとして分析をすすめております。今回の結果をふまえた取り組みについては、次号でお知らせいたします。